国際拠点港湾　清水港（しみずこう）〈開港〉　名古屋税関清水税関支署（しずおかけん）［静岡県静岡市（しずおかし）］

1. 清水港の概要

清水港は本州のほぼ中央、駿河湾の西岸に位置し、日本のシンボルである富士山を背景に、三保半島を天然の防波堤として古来より栄えてきた港である。

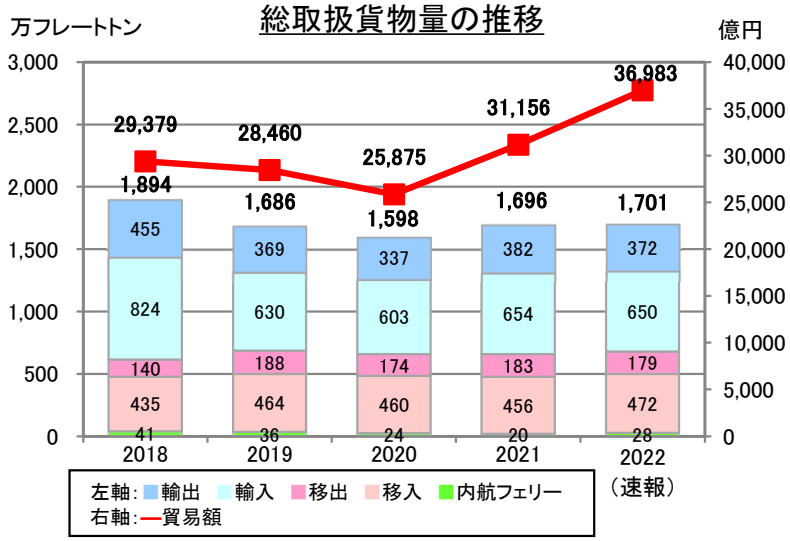
清水港は我が国でも有数の国際海上コンテナ取扱機能を持つ国際貿易港である。背後圏には様々な産業が集積し、新東名高速道路や東名高速道路、中部横断自動車道（2021年8月全線開通）など主要幹線道路とも近接しており、静岡県内をはじめとする東海地域の経済を支えている。また、近年は、農産物輸出拠点や国際クルーズ拠点としての機能強化が期待されている。

2. 清水港の取扱貨物データ

■2021年 取扱貨物量 全国35位　(22年速報で36位)

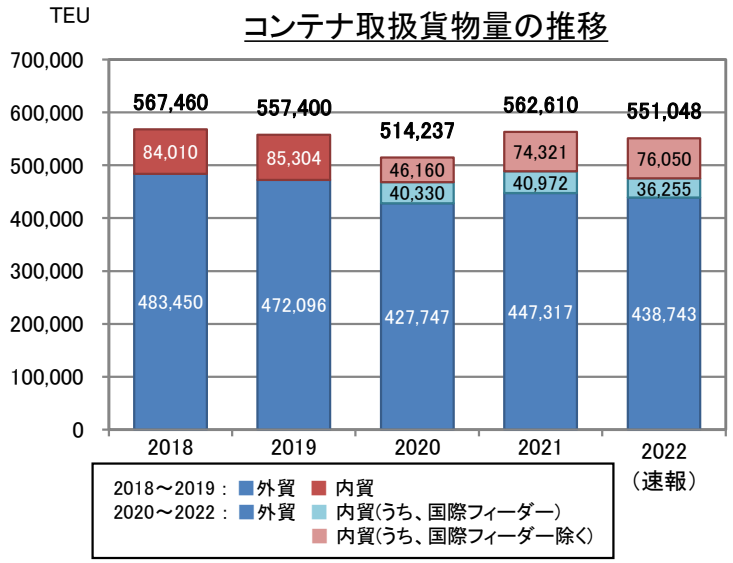
■2021年 コンテナ取扱貨物量 全国8位　(22年速報で8位)

総取扱貨物量の推移



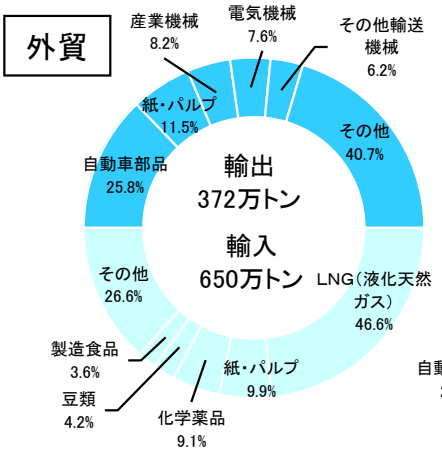
出典：貿易額は財務省「貿易統計」、貨物量2018～2021年は港湾統計（年報）、2022年は国土交通省港湾局調べ
※移出、移入：内航フェリーによる貨物を除く　※内航フェリー：内航フェリーにより移出・移入される貨物

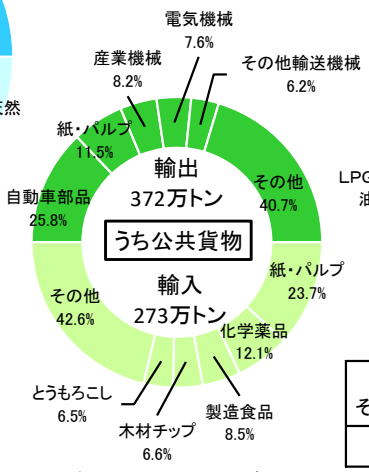
コンテナ取扱貨物量の推移

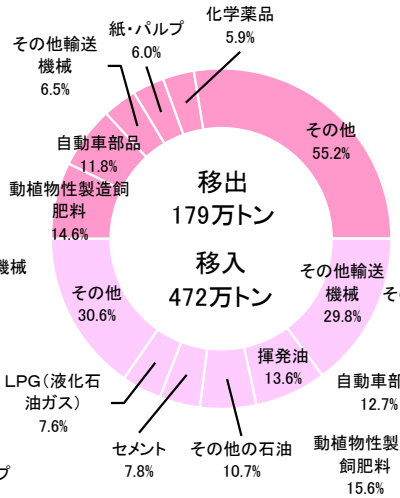


出典：2018～2019年は港湾統計（年報）、2020～2022年は国土交通省港湾局調べ
※ 国際フィーダー：内貿のうち、国際コンテナ戦略港湾で積替えられて輸出入されるコンテナ貨物量
注）国際フィーダーは港湾管理者に可能な限り調査・提供頂いたものであり、全量を把握できないため、参考値であることに注意

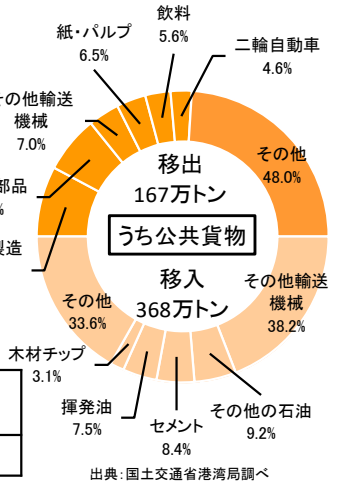
取扱貨物の品目内訳（2022年）







※内航フェリーによる貨物を除く



出典：国土交通省港湾局調べ

主な荷主（外貿）

LNG	清水LNG（株）
木材チップ	日本製紙（株）
紙・パルプ	日本製紙（株）

主な荷主（内貿）

揮発油、その他の石油	ENEOS（株）
セメント	太平洋セメント（株）

3. 清水港の主な定期航路（2023年5月1日現在）

外貿コンテナ航路	船社名	便数
北米西岸航路	WESTWOOD (Senwa Maritime)	1便/週
欧州航路	THE Alliance / Hapag / HMM / ONE / Yang Ming / CMA / CGM / COSCO / Evergreen / OOCL	1便/週
東南アジア航路	ONE / SITC / Yang Ming / CNC(CMA,CGM) / Evergreen /Wan Hai / Interasia / COSCO / OOCL / KMTC/T.S.Lines/HMM	10便/週
中国航路	KMTC / Nam－Sung / Dong Young / Dongjin / HEUNG-A(Sinokor) / SITC / JJSCO(Jin Jiang Shipping) / HASCO/Ningbo Ocean(Nitto)/COSCO	8便/週
韓国航路	CK Line(CKM) / Tai Young(Daiei Shipping) / KMTC / Pan Con(Asia Cargo) / Dongjin / HEUNG-A(Sinokor) / Sinokor / ONE/Dong Young/Hapag/HMM	7便/週
極東ロシア航路	FESCO(Trans Russia Ag)	2.5便/月

内航コンテナ航路	船社名	便数
東海～関東	鈴与海運(株) / 井本商運(株)/OOCL	7～8便/週
東海～関東～東北～北海道	鈴与海運(株)	2便/週
東海～関東～九州～中国	鈴与海運(株)	1便/週

内航RORO航路	船社名	便数
東海～九州	川崎近海汽船(株)	5便/週
東海～関東～東北～北海道	栗林商船(株)	1便/週
近畿～東海～関東～東北～北海道	栗林商船(株)	1便/週

内航フェリー航路	船社名	便数
清水～土肥	ふじさん駿河湾フェリー	4便/日

出典：中部地方整備局港湾空港部港湾計画課調べ